

# 46号

題字 生平小  
3年 原田翔太郎



クリスマス交流会(明根小)

岡崎市現職教育委員会 特殊教育部会

平成14年2月28日発行



## ぼく、一人前だよ

美合小学校長

兼平義文

二十五年ほど前、小学一年生を担当した子との会話の一部です。

「先生、ぼくだつて結婚もしたいし・・・。一人前に仕事をしたい。」  
「そうか、そうか。涙が出ちゃうか。〇〇ちゃんはまじめ一方だから探せば絶対どこかにあるさ。先生もいろいろあたってみるで。」

一年が過ぎました。あちこち探しましたが、見つかりません。

「職安の障害者の部で面接したけど、今度も全部ダメだった。」

「よし、求人票を見せて。あきらめんで合う仕事を二人で探そう。」

二年が過ぎました。何度会っても同じような会話ばかりでした。

三年半が過ぎました。自分の力で仕事を先見つけてきました。

「よかった、よかった。お母さん喜んだろう。何かしてあげたか？」

「お母さんにすごく世話になつてるもん、うどん屋さんに行った。」

「先生、給料もらつたよ。貯金もしたよ。ぼく、一人前だよ。」

「わかった、わかった。同じこと何度も言うな。だけど、勝手に休むと、信用がなくなっちゃうから、がんばらにやいかんよ。」

「迷惑かけちゃあいかなで、休まんで行つたよ。精勤賞もらつたよ。」

「すごい、すごい。そりゃあ、すごいじゃあないか。」

「だけど、今月は二日も休んじゃつたで、ダメだけど。」

「残念だけど仕方ないな。だれだつてカゼぐらい、ひく時あるさ。」

「カゼじゃあないよ。お父さんが死んだもん・・・しようがないよ。上司の人がお参りにきてくれたよ。うれしかったよ。」

### 特殊学級進路指導委員会

## 事業所見学会

### 講演・交流・職場見学

二月八日、中学校特殊学級進路指導委員会主催の「事業所見学会」が生徒・保護者・教師百四十七名の参加のもとで行われました。午前中、保護者は愛知県立豊田高等養護学校進路指導主事の堀部孝先生による「職業自立について」の講演会、生徒は交流会に参加しました。

午後、事業所見学では、各中学ごとに見学し、自分たちの先輩が実際に働いている姿を見て、働くことに対する意識を高めるよい機会になりました。

### 親の声 事業所見学会に参加して

秋山 信子

この度、わたしたち新香山中は岩津中と合同でトリニティ工業を見学させていただきました。

車内プラスチック部品を製造している工場内の作業に生徒たちは見るもの見るものにとっても興味を示している様子でした。

事業所の方々には、終始笑顔で

対応していただき、生徒たちの数々の質問にも親切に快く答えていただけましたことを大変嬉しく思い、感謝いたします。

### 生徒の声 岡崎椅子を見学して

北中三年 藤原 真子

わたしたちは岡崎椅子という椅子の工場を見学しました。工場は学校の近くにあります。

見学してびっくりしたのは、椅子の種類が大変多いことです。わたしは青い椅子がカッコよくて、すわりたかったです。また、ピストルみたいな大型ホッチキスの音がピシピシいってこわかったです。でも、やらせてもらってすぐくうれしかったです。わたしは大きくなったら岡崎椅子で働きたいです。



### 生徒の声 交流会と見学会

南中一年 Y・I

最初は学校紹介でした。一年生だけでやったので少し緊張しました。次に長いドミノをやりました。二位になりました。

午後は西友の見学に行きました。ビデオで見ると、短時間で品物を並べるためにダンボールも決めて片付けたり、腰をいためないように品物の位置を高くしたり、工夫していました。先輩を見たら、てきぱき動いて全然迷っていないです。すごいなあと思いました。

### 事業所の声 光加工

山之口良夫

二年前に就職活動をしてみえた豊田高等養護学校の先生の依頼で職場実習を受けたご縁で、卒業生を雇っています。彼にはうちが行っている電着塗装のために部品をハンガーに取り付ける仕事をやってもらっています。物の大小に合わせて部品同士がぶつからないよう取り付ける必要があります。

業種や仕事内容によって違いはあると思いますが、中学卒業後に養護学校などで経験を積むことも就職に向け大切だと思います。(談)

教員生活三十八年間の最後の七年間を特殊学級の担任として過ごしました。福岡小学校では、最後の四年間を勤務しました。語り尽くせない数々の思い出ができません。中でも、今年卒業する二人の子供を担任することができ、ともに卒業できることが一番の活動し、楽しみました。

その中で、特に力を入れたことは、虫を飼うことを通した自然観察でした。アゲハチョウの成虫に毛が生えていることや、ミミズのぜん動運動や砂を食べているということなど、小さな虫の神秘さを子供とともに発見することができたことは、私にとっても大きな驚きでもあり、また喜びでもありました。

学級の愛唱詩「さくら」の「火 水 木 金 ちら ちら」ことしの さくら さよ うなら」を何回も読むうちに、ひらがなが読めなかったA君が、口ずさんだ時には、みんなの手を取り合って喜びました。

**充実した七年間を 過ごして**

福岡小 橋本 美智子

二人の子供とともに、修学旅行の事前学習に取り組みました。行程や見学地などを「旅行のしおり」や図書室の本、パソコンも使って調べ学習を進めました。帰ってから「とても楽しかったよ」で、たくさん話をしてくれました。友達にも親切にしてもらったようで安心しました。とのお母さんのことは、にほっとしました。

いろいろな先生方に支えられた七年間だったと思います。最後に私の俳句三句で締めたいと思います。

春の野に浮き立つ子らの弾む声  
稲を刈る力の音となりけり  
拍手には笑顔でゴール寒マラソン

### 職業自立を目指して

愛知県立豊田高等養護学校長

鈴木陽子

愛知県立豊田高等養護学校は、高等部のみ、比較的軽度の知的障害者の養護学校です。一学年の定員は、一学級八人で六学級の四十八人です。三学年併せて百四十四人の生徒が、校訓「勤勉 感謝 自立」のもと、一生懸命に学んでいます。

教育目標は、「自立を目指す職業教育を推進し、社会の一員として必要な知識・技能・態度を備えた人間を育成することです。この目標に応じて、入学してくる全員の生徒が「卒業後は就職したい」と望んでいます。生徒は、設置学科産業科（工業—木製加工・金属加工、産業—紙器加工・縫製加工、窯業—窯業・セメント加工）の二コース（六班）のいずれかに分かれ、さらに、農業（農芸）や職業を含め、週授業時間数の半分以上を職業教育として、働くための基礎的・基本的な力を身につけてい

ます。部活動も大変盛んで、全員が運動部か文化部のいずれかに所属しています。そして、スポーツ大会や作品展で良い成績を残し、校内に活気をみながらさせています。本校生徒の長所は、明るく、素直で、何事にも感謝の念を忘れず、ひとつのことに黙々と打ち込むところと、このような長所を持った生徒たちは、卒業後も企業

の皆様から大変お褒めの言葉をいただいています。次に、入学者の選考に至るまでの一年間の流れをお知らせします。六月中旬—学校説明会  
七月中下旬—教育相談会  
十二月初旬—体験入学会  
二月初旬—入学者選考  
二月中旬—選考結果の発表

本校では、いつでも教育相談をお受けしております。お気軽に御連絡ください。

☎0565-54-0011

### 私の教室日記

#### 七人の生徒とともに

竜南中（教科担当者）

堀場 雅夫

七人の生徒たちと、週一回の授業をするようになって、早十か月が過ぎようとしている。習字道具の置き方が反対だった子ども、今ではきちんと置いている。初めのうち、とまどっていたのは私の方だった。ひらがなを書かせていたものの、その方法に自信をもてずいた。それでも、先生の話や部活のことなど、たくさん話してくれたおかげで少しずつ慣れてきて、自信もついてきた。

漢字を初めて書くときに、まず一画ずつ書かせた。横画、左

ばらい、右ばらいと順番に練習していった。黒板にばらばらに書く。「さて、これを組み合わせると、何という漢字になるでしょうか」だれも答えない。でも、日は真剣で、いつしようにけんめい考えている。ヒントとして、順番に書いていく。すると「わかった。『大』だ。」と大きな声で答えた。担任の先生の名前の一字を、やつと当てた。こういうやり方を思いつかせてくれたのは、七人の生徒たちとのふれあいのおかげである。私もひとつ成長したと思えた。

### そよかぜ 相談室から(2)

相談活動の主なものをお知らせいたします。

六月頃から幼、保育園を訪問し、就学に際して気がかりな園児の言語や発達の様子、友達との関わりなど観察をしています。そよかぜ相談では、園児観察

や資料を基に保護者の希望に添うべく話し合いが行われます。家庭や学校から連絡のあった

在学児についても随時、学習の遅れや友達関係など心配な点を話し合います。その時、依頼があれば知能テストなどを実施し、子供さんの実態を把握したうえで、今後の進級の相談などにも応じております。

### 学級スナップ

#### 藤川宿場まつり

藤川小 三年三組

「ぼくも行く。」

縦割り班のお兄さんと手をつなぎにいくA君。行く先々で地域の人にスタンプを押してもらってここにこしているB君。これは、「藤川宿場まつり」の史跡巡りスタンプリーでの「こま」である。東海道五十三次の宿駅制定四百年を記念して行われた。

A君とB君が住む地域の学校に三年三組が今年度新設された。このような節目にあたる地域の行事にも地域の友達と、地域に住む一人として加わることができたことをおうちの人も喜んでいた。



# 教えられたこと

鈴木堪子



母の介護のため退職して間もな

く二年。今は小中学生に会ったり話したりすることもめっきり減つて、大人の中の生活をしています。

このわずかな期間に、社会は予想もしなかった方向に動いてきました。就職できたFちゃんはまだ働いているかしら。授産所へ入ることができたK君は休まず行っているかしら。後任の先生にお願いした生徒は、どんな進路を選ぶのかしらなどと気になります。私の教員生活の最後のページを飾ってくれた八名の生徒からは多くのことを学びました。

## 優しさ・ゆとり

誰にも覚えがあることでしょうか、優しく諭すように注意された時は、素直に従えることが多いものです。障害児学級は少人数だけに注意の仕方が難しいのです

が、初めて担任したFちゃんの仲間への注意の仕方には感心させられました。今までの先生方や家の方の影響なのか、本人の天性なのか分かりませんが、そっと相手の体に手を置き、優しい声でゆとりをもつて話すのです。

異年齢の仲間が集まった小集団では、自然に兄弟のような雰囲気の中で順送りに育てられていくすばらしさを学びました。



このFちゃんに 出会えたからこそ 五組で、五年間頑張れました。彼女は、手先が不器用で苦労していましたが、楽しい会話ができて、いつもこやかなのできつと社会で通用すると信じていました。

努力の結果、豊田高等養護学校を卒業し、社会人になって三年。スーパ―の中の魚屋さんでみんなに愛されて働いているそうです。

## 笑顔で挨拶

昨夏、二週間ほど小学校に行きました。慣れない初顔の私にも笑顔で手を握りながら挨拶をしてくれるY君に助けられました。小か

ら中への六年間の成長にも気づかされました。小学校での「生活の指導」があつてこそ、中学校の学習や作業が成立するのです。挨拶ができるだけでも立派ですが、更に心の通う内容にするためにも笑顔が必要です。口だけの時もありましたが、K君はよく挨拶のできる子で学区の人にも自分から声をかけていました。私も会話も出来ないのに、気分転換にと海外に出ますが、挨拶だけはその国の言葉で笑顔でと心がけています。助け合える、理解できる気分になれるからです。

八人のおかげで 私が初体験できたことや学んだことは、みんな私の財産になっていきます。どんな時も本心に根気強く、温かく見守っていて下さるご家族や先生方がいて下さるので、すてきな笑顔と楽しい会話が出てくるのです。

この三月、T君とHさんも卒業。より温かい世の中になって、本当の春が来るのを祈っています。

# ご卒業おめでとう

わたしのおもいで

美合小 鈴木利奈

うさぎやボールであそんだほうが。大きいこえていえたかくげいかいの「からすのパンやさん」。それから、みんなのはたけとおか

## 中学校の三年間

M・O

## 親子共々成長しました

鈴木美枝子

安藤先生をはじめ先生方、そしてたくさんのお友達のおかげで、数々の行事でうれし涙と感動の連続をありがとうございました。また修学旅行は、当初は辞退させて頂こうと思っておりましたが、参加させて頂きました。利奈は、がんばったと思います。本当に感謝し、改めて利奈の成長を痛感しました。

中学校に入学したと思ったら、あつという間に三年が過ぎてしまいました。入学した当時は、先輩たちの話を聞いて、自分も先輩のようになりたいとは切り切つていません。自分が先輩となり、心のゆるみが出たのか、学校に行くのを嫌がった日もありましたが、先生方が助けられ、三年生になってからは、がんばったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 表彰

- 平成十三年度愛知県特殊教育推進連盟顕彰児童生徒
- 六ッ美北中三年 加藤 誠
- 第三回生の芸術フロール展 愛知県知的障害者育成会賞
- 山中小六年 酒井梓帆
- 第二十一回東海日日新聞社学級新聞コンクール 印刷新聞の部 銀賞(愛知新聞教育研究協議会賞)
- 美川中 六組
- 第三十七回読書感想画コンクール
- 岡崎市教育委員会賞 根石小六年 山本貴博